

令和元（2019）年度

事業報告書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

公益財団法人北九州国際交流協会

2019年度 事業報告書

本協会は、「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」という長期ビジョンの下、「1 外国人市民の社会適応支援と社会参画の促進」、「2 協働による多文化共生のまちづくり」、「3 多文化共生の担い手育成（グローバル人材の育成）」の3つの分野における事業を実施した。

1 外国人市民の社会適応支援と社会参画の促進

(1) 外国人市民の社会参画を促すエンパワメント支援

日本語を十分に理解できない外国人市民に対して、情報提供、外国語での相談、通訳派遣、日本語教育等の支援を行い、外国人市民が暮らしやすい環境を整備するとともに、就業や地域での社会参画に繋げるためのエンパワメント支援を行った。

ア 多言語による生活情報の提供

多言語（日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語）のホームページやフェイスブックを活用して、最新のイベント情報や生活情報、災害関連情報、協会事業や県内の国際交流等外国人市民への情報提供を行った。

ホームページアクセス数：日本語 24,376 件、英語 3,298 件、
中国語 1,214 件、韓国語 838 件、ベトナム語 1,962 件
やさしい日本語 1,249 件

合計 32,937 件

イ 多文化共生ワンストップインフォメーションセンター

(ア) 一般相談

増加、複雑化する相談に対応するため、多文化共生ワンストップインフォメーションセンターを開設、八幡西区「北九州市多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」及び小倉北区「サテライトセンター」の2か所において、日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語での相談や情報提供を行った。

相談人数：1,214 人 相談件数：1,395 件

○ 相談対応日の増設

従前の火～金曜日対応を、月～金曜日対応とした。

また対応時間も、10:00～16:00 を、9:30～16:00 に延長し、相談者の利便性を図った。

○ 多文化共生ソーシャルワークの導入

社会福祉士レベルの専門性に加え、外国人支援に関する知識や経験を持つ「多文化ソーシャルワーカー」をワンストップインフォメーションセンター内に配置し、外国人当事者と必要な関係機関を繋ぎ長期的なフォローを実施した。

○ 多言語通訳システムの導入

タブレット端末を利用した多言語通訳システムを導入し、14の言語による相談対応を可能にした。

(イ) 専門家相談

① 入国・在留・国籍手続き相談

福岡県行政書士会と共催で月に1回開催した。

相談件数：63件

② 法律相談

福岡県弁護士会北九州部会の協力のもと月に1回開催した。

相談件数：13件

③ 心理カウンセリング

臨床心理士による相談会を随時開催した。

相談件数：5件

(ウ) 北九州外国人支援関係機関連絡会議の開催

外国人支援に関わる関係者の情報交換会を開催し、各立場での状況や内容について意見交換を行うことで関係機関の緊密な関係を築き、外国人の抱える課題や傾向について情報共有を行った。

開催日：9月20日（金）、2月26日（水）

会場：八幡西生涯学習総合センター

構成員：福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、教育委員会、戸籍住民課、子育て支援課、保健福祉課、各区保健師、各区子ども家庭相談コーナー職員、男女共同参画センター、外国語相談員 等

出席者：9/20 24人、2/26 22人

ウ コミュニケーション支援事業

コミュニケーションに困難を感じている外国人市民に対して、地域社会において孤立することなく、日本人と共生できるように電話通訳や行政通訳派遣等の支援を行った。

(ア) 相談員による電話通訳の実施

市役所・区役所・学校等の関係機関と日本語でのコミュニケーションが難しい外国人市民との間の電話通訳サービスを実施した。

対応言語：英語・中国語・韓国語・ベトナム語 ※ベトナム語は火・水曜のみ

対応日時：月曜～金曜 9：30～16：00

(イ) 行政通訳派遣

北九州市の委託を受けて、日本語によるコミュニケーションが困難な外国人市民のために、区役所や学校等に行政通訳者や多言語ママパパサポーターを無料で個別派遣した。

派遣件数合計：102件 派遣者数合計：103人

① 行政通訳派遣 《北九州市からの受託事業》

北九州市の組織や学校等または外国人市民からの依頼により、行政通訳者を派遣した。

派遣件数：65件 派遣者数：67人

言語：中国語 36人、英語 19人、ベトナム語 8人、
タガログ語 3人、タイ語 1人

内容：子育て支援①子供関係・・・51件(51人)
(学校・保育所・児童相談所・福祉施設《障害者支援含む》)
子育て支援②母関係・・・7件(7人)
(保健師等の妊産婦訪問指導、離乳食・マタニティ室等)
区役所・市役所・・・6件(6人)
社会保険・・・1件(1人)

② 多言語ママパパサポーター派遣 《北九州市からの受託事業》

医療機関や行政機関、子育て支援機関、外国人住宅等に「多言語ママパパサポーター」として通訳者を派遣した。

派遣件数：34件 派遣者数：34人

言語：英語 26人、ベトナム語 6人、タイ語 2人

内容：病院(市公費助成妊婦・乳幼児等無料検診等)・・・30件(30人)
子育て支援機関(日本語教室、児童福祉施設等)・・・3件(3人)
行政機関・・・1件(1人)

③ 受託外派遣

市からの受託以外に、他市町村に行政通訳者を派遣した。

派遣件数：3件 派遣者数：2人

言語：ベトナム語 1人、タイ語 1人(2回)

内容：他市町村からの依頼等

(ウ) 医療通訳派遣

日本語でのコミュニケーションが難しい外国人市民が安心して医療機関を受診できるように、医療通訳者を医療機関等へ派遣した。

派遣件数：93件 派遣人数：93人

言語：中国語 41人、英語 33人、ベトナム語 14人、韓国語 1人、
モンゴル語 2人、タイ語 2人

診療科：産婦人科 29件、外科 19件、内科 17件、小児科 12件
脳神経外科 5件、耳鼻咽喉科 3件、呼吸器内科 3件
整形外科 2件、眼科 2件、循環器科 1件

(参考) 協定病院等：3 登録病院：30

※ 上記のうち31件(31名)は、市公費助成妊婦・乳幼児等無料検診・予防接種等のため、「多言語ママパパサポーター」として派遣。

エ 日本語教室の運営

(ア) 外国人子ども支援

外国につながるのある児童生徒を対象に、学習支援の場として「放課後にほんごひろば」及び「夏休みにほんごひろば」を実施した。

① 放課後にほんごひろば

主に外国につながるのある児童生徒及び親を対象に、日本語学習、教科学習や宿題のサポートを行う教室を小倉北区と八幡西区で実施した。

【小倉】

開催場所：小倉中央市民センター

開催期間：5月14日～2月25日 毎週火曜日 16:00～17:30

開催回数：30回

※ 台風による休止1回(7/16)

新型コロナウイルスに係る休止2回(3/3、3/10)

参加者のべ人数：321人(児童生徒198人、保護者123人)

ボランティアのべ人数：171人

参加者の国籍：中国、台湾、韓国、モンゴル、フィリピン、ネパール

【黒崎】

開催場所：北九州国際交流協会

開催期間：9月21日～2月15日 毎週土曜日 10:00～11:30

開催回数：14回

新型コロナウイルスに係る休止4回(2/29、3/7、3/14、3/21)

参加者のべ人数：100人(児童生徒74人、保護者26人)

ボランティアのべ人数：68人

参加者の国籍：中国、モンゴル、フィリピン、ナイジェリア、米国

② 夏休みにほんごひろば

夏休み期間中に集中して日本語を習得したい、苦手な教科を勉強したい、夏休みの宿題をひとりで終わらせるのが難しいという外国につながる子どもたちのために、支援教室を実施した。

【小倉】

開催場所：北九州市立小倉中央小学校

開催期間：7月22日(火)、23日(水) 計2回 10:00～12:00

参加者のべ人数：42人(児童生徒28人、保護者14人)

ボランティアのべ人数：18人

参加者の国籍：中国、台湾、ベトナム、フィリピン

【黒崎】

開催場所：北九州国際交流協会

開催時期：8月8日・9日・16日・22日・23日 計5回

8月15日は台風のため休止。

参加者のべ人数：28人（児童生徒23人、保護者5人）

ボランティアのべ人数：20人

(イ) 外国人生活者支援

① ママとパパのためのにほんご教室（生活日本語コース）

主に子育て中の外国人住民を対象に、生活に必要な日本語や生活情報を提供する場として市内2ヶ所で教室を実施した。

【黒崎】

開催場所：北九州市立子どもの館

開催期間：4月11日～2月20日、毎週木曜日 10:30～12:00

開催回数：36回

参加者数：のべ218人

参加者国籍：アメリカ、ウクライナ、タイ、フィリピン、ベトナム、
ミャンマー、韓国、台湾、中国

【小倉】

開催場所：北九州市立子育てふれあい交流プラザ

開催期間：4月12日～2月21日、毎週金曜日 10:30～12:00

開催回数：33回

参加者数：のべ174人

参加者国籍：アメリカ、イタリア、韓国、中国、ドイツ、ベトナム、
フィリピン、モンゴル

② ママとパパのためのにほんご教室（日本語集中コース）

日本語レベルの向上を希望する外国人のために、漢字・語彙・文法等、日本語能力の向上に特化した日本語集中コースを実施した。

【黒崎】

開催場所：北九州市立子どもの館

開催期間：4月18日～10月31日、毎週木曜日 13:00～14:30

開催回数：19回

参加者数：のべ51人

参加者国籍：インドネシア、ウクライナ、シンガポール、フィリピン、
ベトナム、モンゴル、中国

【小倉】

開催場所：北九州市立子育てふれあい交流プラザ

開催期間：4月12日～11月15日、毎週金曜日 13:00～14:30

開催回数：21回

参加者数：のべ88人

参加者国籍：アメリカ、韓国、中国、ベトナム

オ 外国人との共生社会の実現に向けた環境整備事業（北九州市からの受託事業）

（ア）多文化共生事例集の作成

外国人市民と地域住民の共生に取り組んでいる地域や団体の活動を紹介する事例集を作成・配布した。

（イ）地域における交流会の開催

外国人が増加している地域で外国人・日本人が参加できる交流会を開催した。

【戸畑区牧山地区】【小倉南区東谷地区】いずれもベトナム人が増加していることから → 地域の祭りにベトナム人実習生が参加しやすいようにサポートしたり、地域の役員向けに「やさしい日本語研修」を開催する等の支援を行った。

（ウ）地域日本語教室支援

地域日本語教室向けの研修会を開催した（別掲＝2-(1)イ(ア)）

(2) 外国人市民への防災支援 《北九州市からの受託事業》

災害時に弱者となりやすい外国人市民支援のため、防災啓発や防災訓練などへの参加、災害時通訳サポーターの拡充とフォローアップ研修などを実施した。

ア 外国人市民対象の防災講習会

日本語でのコミュニケーションが難しく、かつ災害に関する知識や経験があまりない市内在住外国人市民を対象に、日本で起こる災害や緊急時の対策について基本的な知識を学ぶ講習会を実施した。

* 第1回

開催日：11月8日（金）

場 所：北九州市立子育て交流ふれあいプラザ

内 容：外国人子育て世代のための「119番通報練習」

講 師：小倉北消防署

参加者数：10人（フィリピン、ベトナム、中国、日本人）

* 第2回

開催日：11月14日（木）

場 所：北九州市立子どもの館

内 容：外国人子育て世代のための「119番通報練習」

協 力：八幡西消防署

参加者数：13人（中国、フィリピン、ミャンマー、日本人）

* 第3回

開催日：11月30日（土）

場 所：日本語学学校→黒崎中学校

内 容：八幡西区防災訓練への参加（防災学習、避難訓練、多言語コールセンターのデモンストレーション訓練、非常食の試食等）

参加者数：50人（日本語学学校の留学生（ベトナム、ネパール、インドネシア）

イ 災害時通訳サポーター研修の開催

日本語によるコミュニケーションが難しい外国人に対し災害時に文化や習慣の違いを踏まえ、通訳あるいは翻訳等の言葉の支援を行う通訳者を対象に通訳・翻訳ボランティアスキルアップ研修を行った。(計5回)

第1回 「災害対応多言語コールセンター説明会及び模擬訓練」

日時：令和元年7月2日(火) 10:00~11:30

場所：八幡西区役所 603 会議室

主催：北九州市企画調整局 国際政策課

内容：・災害時多言語対応についての説明

・災害多言語コールセンター模擬訓練

・避難所での外国人対応、区災害本部での電話対応等

対象：市職員、協会職員、災害時通訳サポーター

参加者：60名

第2回 「市民ふれあいフェスティバル 活動紹介」

日時：令和元年10月27日(日) 12:30~13:30

場所：ウェルとばた

主催：北九州市社会福祉協議会

内容：協会の防災支援事業についての紹介

対象：協会職員、災害時通訳サポーター

参加者：3名

第3回 「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」

日時：令和元年11月9日(土) 12:30~16:00

場所：九州国際大学 KIU ホール

主催：北九州市社会福祉協議会

内容：ニーズ調査活動における外国人被災者対応訓練

対象：協会職員、災害時通訳サポーター

参加者：3名

第4回 「八幡西消防署やさしい日本語研修」

日時：令和元年11月28日(木) 10:00~12:00

場所：八幡西消防署

内容：・やさしい日本語についての説明

・コミュニケーション訓練

講師：北九州国際交流協会 矢野 花織

対象：八幡西消防署 消防隊員

協力：災害時通訳サポーター、一般外国人市民

(インドネシア3名、ベトナム2名、ミャンマー1名、中国1名)

参加者：38名

第5回 「災害時通訳・ボランティアスキルアップ講座」

日時：令和2年2月24日（月）10：00～12：30

場所：八幡西生涯学習総合センター

主催：公益財団法人福岡県国際交流センター

内容：・多言語支援センター、
災害時通訳・翻訳ボランティアの活動について
・やさしい日本語のワークショップ

講師：公益財団法人仙台観光国際協会 菊池 哲佳 氏

対象：災害時通訳サポーター、日本語ボランティア、行政職員等

参加者：30名

ウ 防災に関する啓発ツールの配布

日本での防災対策として、多言語による緊急時の連絡先や発信される言葉についての啓発ツールを配布した。

（配布したツール）

*多言語防災啓発シール

*避難所指さし会話帳（英語・中国語・韓国語・ベトナム語）

2 協働による多文化共生のまちづくり

(1) 地域の民間団体と連携・協働した多文化共生の地域づくり

北九州地域の国際化及び多文化共生を推進するため、市民団体との連携を図り、活動支援を行った。

ア 国際交流団体との連携

(ア) 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット）支援

北九州地域の国際交流団体ネットワーク組織であるキーネットの加盟団体相互の情報交換等の活動を事務局として支援した。(63 団体/3 月 31 日現在)

① 総会

日 時：5 月 18 日（土） 11：00～12：00

場 所：JICA九州 講堂

交流会：12：00～14：00 JICA九州レストラン

② 役員会/情報交換会等の開催 6 回

③ 北九州留学生文化祭への協会&キーネット紹介ブース出展

留学生文化祭の会場に協会やキーネット加盟団体の活動やイベントを紹介するコーナーを設け、留学生や市民にPRを行った。

日 時：11 月 23 日（土・祝）・24 日（日） 11：00～16：00

場 所：北九州リバーウォーク周辺

④ キーネットパネル展

「北九州国際交流団体ネットワーク」加盟団体のうち、希望する団体に活動内容を紹介するパネルを作成してもらい展示した。

開催期間：10 月 29 日（土）～11 月 12 日（火） 参加団体：17 団体

場 所：ひとみらいプレイス通路マーメイド広場

⑤ キーネット研修会（アーサー・ピナード講演会）

日 時：2 月 1 日（土） 14：00～17：00

場 所：八幡西生涯学習総合センター

講 師：アーサー・ピナード（詩人）

テーマ：映画と文学で学ぶ多文化共生

来場者数：100 人

⑥ キーネット研修会（児童虐待について）

日 時：10 月 23 日（水） 19：00～20：00

場 所：国際交流協会内

講 師：北九州市子ども総合センター 児童虐待対策相談課長

参加者数：20 人

(イ) 民間団体の活動支援

本市の国際化及び多文化共生に貢献している民間団体の活動が、広く世間に評価されるように表彰事業に民間団体を推薦した。また、民間団体と連携・協働するとともに、民間団体が開催する事業の共催や後援、当協会が配信するメールマガジンに情報提供し広報支援等を行った。

共催：6件 後援：17件

イ 地域日本語教室との連携

(ア) 地域の日本語教室の支援

① ボランティア教室の紹介

市内日本語教室リストを作成し協会内に配架、また協会のホームページにおいても情報提供を行った。

② 研修会の実施

地域日本語教室向けの研修会を実施した。

開催日：1月11日（土） 14：00～16：00

開催場所：八幡西生涯学習総合センター

参加者数：20人

講師：深江 新太郎氏（愛和外語学院教務長）

演題：「初級学習者のことばを育む教室活動の方法」

※その他、福岡県国際交流センター主催の研修会等、地域日本語教室向けの研修があれば、随時紹介した。

② 教室訪問

市内13箇所の地域日本語教室を訪問し、聞き取り調査を実施した。

(イ) 生活者としての外国人を対象とした「日本語おしゃべり発表会」の開催

ボランティア日本語教室で学習している外国人市民に学習成果発表の機会を与えるとともに、教室間の交流・情報交換を促進すること、また、観覧者として来場する日本人市民に対して、多文化共生理解を深めてもらう場とすることを目的として実施した。

企画・運営にあたっては、地域日本語教室の有志や市民ボランティアによる実行委員会を立ち上げ、実施した。

開催日：2月9日（日） 14：00～17：00

開催場所：北九州市立子どもの館 子どもホール

発表者数：23人

出場地域：アメリカ、インド、インドネシア、韓国、台湾、中国、ベトナム、メキシコ、モザンビーク

来場者数：200人

実行委員会：全3回（11月～1月）

実行委員数：10人

ウ 地域日本語ボランティア教室研修の実施

【地域日本語教室 ボランティアスキルアップ講座】(再掲)

開催日：1月11日(土)

講師：愛和外語学院教務長 深江新太郎

受講者：20名

主催：(公財)北九州国際交流協会

【福岡県地域日本語教室 ボランティアスキルアップ講座】

開催日：8月3日(土)

講師：東海日本語ネットワーク副代表 米勢治子

受講者：20名

主催：(公財)福岡県国際交流センター

共催：(公財)北九州国際交流協会

協力：国際交流基金

【福岡県地域日本語教室 ボランティアスキルアップ講座】

開催日：10月19日(土)

講師：国立国語研究所日本語教育研究領域 教授 野田尚史

受講者：20名

主催：(公財)福岡県国際交流センター

共催：(公財)北九州国際交流協会

協力：国際交流基金

(2) 外国人支援機関と連携・協働した多文化共生の地域づくり

地域の外国人支援機関との連携を密にし、情報交換を行いながら多文化共生の地域づくりに取り組んだ。

ア 国際交流団体との連携

協会の外国人支援事業(外国人相談・日本語教育・通訳派遣)と、地域の外国人支援機関(公的サービス・専門機関・専門団体)等との情報交換会等を通じてネットワークを構築し、外国人住民に対して包括的な支援を可能にすることにより、多文化共生の地域づくりを目指す事業を実施した。

(ア) 北九州外国人支援関係機関連絡会議の開催(再掲)

外国人支援に関わる関係者の情報交換会を開催し、各立場での状況や内容について意見交換を行うことで関係機関の緊密な関係を築き、外国人の抱える課題や傾向について情報共有を行った。

開催日：9月20日(金)、2月26日(水)

(イ) 外国人支援に関わる職員のための研修会の実施

外国人市民の対応・支援をする機会のある職員を対象に当協会の職員及び外部講師による研修会を実施した。

実施日：10月31日(木)、2月24日(金)

イ 行政機関との連携

(ア) 福岡県との連携

「福岡県外国人材受入協議会」への参加

(イ) 福岡出入国在留管理局との連携

就労永住審査部門 統括審査官との意見交換会の実施

(3) 多文化共生の地域づくり

異なるものを理解・尊重する社会的な土壌をつくるために、市民を対象にした国際理解教育を推進した。また、地域の講座やイベントを通じ、市内の児童・生徒をはじめ日本人市民に対して多文化共生への理解を促進するための事業を実施した。

ア 国際理解教育の推進

(ア) 国際理解教育講師の派遣・紹介 《福岡県・福岡市協働事業》

異文化理解に関心を持つ市民を対象に、世界の文化や習慣を体験的に学んでもらうため、小・中・高等学校や市民センター等へ外国人市民などを国際理解教育の講師として派遣する事業を福岡県、福岡市、北九州市の3協会の協働事業として実施した。

【講師派遣事業（無料）】北九州市内の学校への派遣

17件（14校） 派遣講師：32人

【講師紹介事業（有料）】北九州市内の団体へ紹介

5件（4団体） 紹介講師数：2人

(イ) 国際理解推進員派遣

国際理解推進員が講師となり、市民センターや学校等で、自国の生活や文化などを紹介することにより市民の異文化理解を促進した。

（派遣件数：10回 参加者数：511名）

4/4, 5 毎日西部会館 市新規採用職員研修

「国際交流協会事業紹介」（202名）

4/19 萩ヶ丘市民センター たのしい英会話クラブ

「シンガポールの紹介」（10名）

5/23 三宅家庭保育園 「世界の国からこんにちは！」（6名）

6/17 筒井市民センター

ESD 推進いきいきシニア塾「業務や体験発表」（56名）

7/27 八幡生涯学習総合センター 気ままにセミナー

「シンガポール人に訊く“グローバル都市シンガポール”」（25名）

8/8 北小倉市民センター きた子サマースクール

「異文化の紹介」（19名）

9/18 银杏庵穴生倶楽部 英語カフェ（英語サークル）

「ネイティブとの交流」（10名）

- 10/2 赤坂市民センター 生涯学習市民講座
「国・文化などの紹介や交流会」(28名)
- 11/10 八幡生涯学習総合センター グローバル人材育成事業
「英語で語る自分の国シリーズ：シンガポール」(39名)
- 11/24 リバーウォーク周辺特設会場 留学生文化祭
「シンガポール紹介・チェギ体験会など」(45名)
- 1/18 大原市民センター 大原わくわくきっず
「出身国の紹介など」(71名)

※ 上記の他、市政番組「好きっちゃ北九州」のリポーターとして実演 計 13 回

(ウ) 協会職員派遣

(2) の他、協会職員を講師として派遣した。

- 4/2 高田工業所「やさしい日本語・異文化理解」講座 (90名)
- 8/7 福岡県高等学校人権同和教育研
「外国にルーツを持つこどもたちの進路保障」(50名)
- 11/20 小倉北区地域保健係 「外国人母子支援について」(20名)
- 11/22 佐賀県国際交流協会 「CLAIR実務者研修」(38名)
- 11/28 八幡西消防署「やさしい日本語研修」(38名)
- 11/30 中央図書館「やさしい日本語研修」(20名)
- 1/16 周望学舎「地域で暮らす外国人」(40名)
- 1/18 多文化共生フォーラム「多文化共生入門」(40名)
- 1/31 CLAIR 「ローカライズ研修」(30名)
- 3/13 八幡西区地域保健係 「外国人母子支援について知っておくこと」(20名)

(エ) 国際理解教育の推進

異文化理解を推進し、多文化共生社会を推進するための事業を実施した。

① 英語で語る自分の国

北九州市在住の外国人市民が、自国の文化等を英語で紹介することで、海外の文化を生々の声で聴き身近に感じてもらう機会と、グローバル化する現代に必要とされる英語に親しむ機会を提供した。

計 7 回実施 参加人数：359 名

	実施日	内 容	講 師	参加
①	4月 20日	バハマ	エントワン・ミッター	39人
②	5月 11日	スロバキア	ドロタ・ベラノバ	61人
③	6月 15日	チュニジア	アミル・マロウアン	70人
④	8月 31日	中国・上海	シュウ・テン	44人
⑤	9月 4日	シリア	ヌール・アルフダ・アルボガ	57人
⑥	12月 11日	カナダのクリスマス	マクドナルド・ジェイスン	46人
⑦	1月 11日	イタリア	パオロ・マージオリ	42人
⑧	3月 21日	マレーシア (中止)	サファルル・ビン・ムスタファ	—

② クロサキ96の日イベントへの参加

「外国語味見コース」韓国語・英語・タミル語のワンポイントレッスン
9月6日（金）参加者23名

③ サマーミニキャンプの実施

小学生を対象に英語と韓国語で会話やゲーム、料理を行った
8月24日（土）参加者9名

④ 留学・ワーキングホリデーセミナー in 北九州

社団法人日本ワーキングホリデー協会と共催で、海外留学やワーキングホリデーに興味を持つ青少年のためのセミナーを開催した。

開催日：①8月31日（土） 13人
②11月30日（土） 10人

⑤ インターンシップの受入れ

北九州市立大学3人、九州大学1人、
北九州市立ユースステーション1人

計2回：5人

イ 多文化共生啓発

(ア) 多文化共生啓発

多文化共生についてより深く理解し身近に感じてもらうため、市民や市民団体等に対し学習会や講座、イベント等を通して、多文化共生の啓発を行った。

① 北九州留学生文化祭への協会&キーネット紹介ブース出展（再掲）

留学生文化祭の会場に協会やキーネット加盟団体の活動やイベントを紹介するコーナーを設け、留学生や市民にPRを行った。

開催日： 11月23日（土）24日（日）

場 所：北九州リバーウォーク周辺

来場者数：750人（協会・キーネットブース来訪者のみ）

② 「市民ふれあいフェスティバル」への出展、事業協力

協会事業やキーネットおよびキーネット加盟団体のパネル展示を行った。
また、実行委員のメンバーとして企画・実施に協力し、協会の防災事業のPRを行った。

開催日：10月27日（日） 会 場：ウェルとばた（戸畑区）

主 催：市民ふれあいフェスティバル実行委員会、北九州市社会福祉協議会

来場者数：620人（協会ブース来訪者のみ）

418人（ミニステージでの協会事業紹介）

③ 「多文化共生わいわい祭り」への出展、事業協力

世界の民族衣装体験コーナーを出展し、協会事業をPRするとともに、実行委員のメンバーとして企画・実施に協力した。

開催日：11月3日（日・祝） 会場：北九州YMCA（小倉北区）

主催：多文化共生わいわい祭り実行委員会

（北九州市、北九州YMCA、キーネット、協会）

来場者数：360人（協会ブース：民族衣装体験来訪者のみ）

④ 市民カレッジ「もっと身近に！国際交流とボランティア」

生涯学習総合センター事業の1コースのコーディネートを担当した。

開催日：全5回（1月11日、18日、2月1日、8日、15日（土））

会場：八幡西生涯学習総合センター 会議室

受講者数：のべ81人

内容：第1回 多文化共生ってなんだろう？&外国人インフォメーションセンターで働く人の声を聞いてみよう！

第2回 国際交流員から話を聞いてみよう！

第3回 留学生とホストファミリーボランティアから話を聞いてみよう！

第4回 北九州国際交流団体ネットワーク「キーネット」で活躍する人から話を聞いてみよう！

第5回 日本語コーディネーター、日本語ボランティアの話を聞いてみよう！

⑤ Let's Talk

外国人市民と日本人市民とが、ゲームやおしゃべりを通して相互理解を深め、多文化共生を促し国際理解を推進する交流会を開催した。

開催日：4月27日、5月25日、6月29日、8月24日、9月28日、
10月19日、11月30日、2月29日（中止）

いずれも（土） 計7回

場所：協会 交流スペース

参加者：155名

4月27日 23名： 日本人：18名、
外国人：5名（カナダ、ナイジェリア、バハマ、フランス）

5月25日 18名： 日本人：13名、
外国人：5名（イギリス、フランス、カナダ、アメリカ）

6月29日 29名： 日本人：22名、
外国人：7名（バハマ、フランス、中国、アメリカ、ナイジェリア）

8月24日 23名： 日本人：21名、外国人：2名（フランス、アメリカ）

9月28日 20名： 日本人：17名、
外国人：3名（ナイジェリア、中国、シンガポール）

10月19日 22名： 日本人：17名、

外国人：5名（バハマ、フランス、インド、アメリカ、ナイジェリア）
11月30日 20名： 日本人：16名、
外国人：4名（フランス、インド、ナイジェリア）
2月4日 （中止）申込者：20名

(イ) 多文化共生の人材づくり 《北九州市からの受託事業》

北九州からの委託を受け、ひとみらいプレイス関係団体と連携を図りつつ、地域で暮らす日本人と外国人とが互いの違いを理解し双方の文化に触れながら、将来の多文化共生を担う人材育成を目指した事業を実施した。

① キーネットパネル展（再掲）

「北九州国際交流団体ネットワーク」加盟団体のうち、希望する団体に活動内容を紹介するパネルを作成してもらい展示した。

開催期間：10月29日（火）～11月12日（火） 参加団体：17団体
場 所：ひとみらいプレイス通路マーメイド広場

② 英語で語る自分の国「シンガポール」

ひとみらい交流ウィークに合わせ、北九州国際交流協会で開催する国際理解推進員によるスピーチイベントを開催した。

開催日：11月10日（日） 参加者：39人

③ 国際交流まつり～世界のママの味～

ママパパ日本語教室参加者等の社会的な自立を支援し、かつ外国の文化について食を通じて理解してもらうためのイベントを「ひとみらい交流ウィーク」期間中に実施した。

開催日：11月9日（土）

出品国：4カ国 6ブース（17名） 来場者：約480人

フィリピン（ギナタン・パンシット・シニガン・チキンアドボ）

ベトナム（揚げ春巻・バンミー・ミックスぜんざい）

中国（ぎょうざ・ジャージャー麺・春巻）インドネシア（パッソ）

④ 「英語で遊ぼう」&「英語で学ぼう」

国際理解推進員やALTが講師となり、小学生・中学生を対象に英語に親しみ交流しながら学ぶ講座を開催した。

第1回 英語で学ぼう（中学生対象）

開催日：1月6日（月）参加者：15人

第2回 英語で遊ぼう（小学生対象）

開催日：1月25日（土）参加者：38人

（19人及び保護者等19人）

3 多文化共生の担い手育成（グローバル人材の育成）

(1) 担い手としてのグローバル人材育成

日本人市民、外国人市民にかかわらず、市内における外国人支援や多文化共生啓発等に活躍できるグローバル人材の育成を図る事業を実施した。

ア 市民ボランティアの育成

(ア) 外国人市民の市民ボランティアへの参加促進

行政通訳や医療通訳等への登録等協会事業など、多文化共生を目的とした講座等へのボランティアとしての参画などを促進した。

① コミュニティ通訳フォローアップ研修

*第1回

開催日：11月16日（土）会 場：八幡西生涯学習総合センター会議室

講 師：東京外国語大学大学院総合国際研究院准教授 内藤 稔氏

内 容：通訳フォローアップ研修

（コミュニティ通訳者の役割と守るべき倫理、模擬通訳演習）

受講者：19人

*第2回

開催日：2月15日（土）

会 場：八幡西生涯学習総合センター会議室

講 師：NPO法人多文化共生センターきょうと代表 重野亜久里氏

同 医療通訳派遣事業コーディネーター 高嶋愛里氏

内 容：医療通訳倫理、医療通訳概要、模擬通訳練習

受講者：14人

内 容：通訳人を介したやり取り（民事・刑事）の演習

受講者：15人

※ 協会ボランティア登録状況（登録数は2020年3月31日現在）

・行政通訳ボランティア（登録：71人）

区役所や学校、保健師訪問等、市の機関等での通訳を行う。

【言語別内訳（重複あり）：中国語26人、英語15人、韓国語8人、ベトナム語5人、インドネシア語5人、タガログ語3人、タイ語7人、モンゴル語2人、ネパール語2人、ドイツ語1人】

・医療通訳スタッフ（登録：42人）

医療機関などでの通訳を行う。

【言語別内訳：中国語22人、英語14人、韓国語6人】

・多言語ママパパサポーター（登録：20人）

子育て関連支援のため、医療機関や行政機関、子育て支援機関、外国人住民宅等での通訳等の支援を行う。

【言語別内訳：中国語 12 人、英語 4 人、韓国語 4 人】

- ・災害時通訳サポーター（登録 51 人）

災害時、北九州市から依頼があった場合、災害対応業務の通訳や翻訳を行う。

【言語別内訳：中国語 21 人、英語 13、韓国語 5 人、インドネシア語 3 人、タガログ語 2 人、タイ語 2 人、ベトナム語 4 人、ドイツ語 1 人】

- ・専門家相談通訳ボランティア（登録：4 人）

専門家相談会での通訳を行う。

- ・ホストファミリーボランティア（登録：70 家庭）

留学生や J I C A の研修員などの外国人を自宅に招いたり、一緒に外出するなどの交流を行う。

- ・にほんごひろばボランティア（登録 10 人）

「放課後にほんごひろば」や「夏休みにほんごひろば」に参加している外国人児童生徒及び帰国児童生徒に対して学習サポートを行うボランティア。大学生の他、日本語教育の有資格者、教員免許所持者等が登録。

- ・ママとパパのためのにほんご教室ボランティア（登録 1 人、その他 1 人）

「ママとパパのためのにほんご教室」に参加している定住外国人に対して学習サポートを行う。

(2) 地域の多文化共生を推進するための人材づくり

異なるものを理解・尊重する多文化共生の地域づくりに寄与する人材を育成ことを目的とする事業を実施した。

ア 国際理解教育の推進（再掲）

（ア）国際理解教育講師の派遣・紹介

（イ）国際理解推進員派遣

（ウ）協会職員の派遣

イ 多文化共生啓発（再掲）

（ア）多文化共生啓発

（イ）多文化共生の人材づくり

(3) 市内在学留学生への支援と交流

ア 留学生への支援

(ア) 留学生への情報提供

新しく北九州市に転入してきた留学生に対して、大学のオリエンテーション等で生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供した。

(イ) 留学生支援

留学生は、北九州市内の映画館の窓口で学生証と在留カードを提示すれば、料金が割引になる制度を映画興行組合の協力により 継続実施した。

(ウ) 関原北九州大連友好基金事業

北九州市と大連市との友好交流に熱い情熱を燃やし、交流の発展を願い続けた故関原一夫・貞子ご夫妻のご遺志により、関原北九州大連友好基金が設立された。亡きご夫妻のご遺志に添い、大連市との幅広い交流に生かすため、特に若者の将来に期待し、下記の事業を行った。

① 大連市留学生奨学金支給

大連市出身若しくは大連市内の大学及び専門学校を卒業した人で、北九州市内の大学、短大等に留学している2人に、月額2万円を支給した。

(エ) 留学生日本語弁論大会

母国を離れ日本で暮らす留学生たちが、日本での様々な体験を通じて感じたこと、考えていることを日本語で発表する場を提供した。日本人にとっても留学生の声に耳を傾けることで様々な価値観や日本の姿を見直すきっかけとなるよう、また、留学生の日本語の上達に資することから、将来、国境を越えた国際交流への一助とすべく本大会を開催した。

開催にあたり、八幡法人会、北九州小倉ライオンズクラブ、NPO 法人北九州市国際文化交流協会の協力を得て実施した。

開催日：12月15日（日）

発表者：10名

（中国5人、ベトナム1人、ネパール1人、スリランカ1人、台湾1人、モザンビーク1人）

来場者：88人

イ ホストファミリーの支援

国際交流や異文化体験を希望する家庭にホストファミリーボランティアとして登録してもらい、ホームビジットの実施や留学生と交流する機会の提供を行った。また、ホストファミリー同士の意見交換会やホストファミリー向けの異文化理解講座を実施し、情報交換やフォローアップを行った。

(ア) 留学生にここに家族・ホームビジット

① ホームビジット

JICA研修員を家庭に招き、交流を通じて相互理解と親睦を深めた。
実施日：11月16日（土） 参加外国人：9人 受入家庭：4家庭

② 留学生にここご家族

市内大学に通う留学生とホストファミリーとの半年、または1年にわたる交流を支援した。また、留学生やホストファミリー同士の交流を深める交流会やバスツアーを実施した。

*対面式

春季 開催日：6月1日（土）・6月8日（土）
開催場所：北九州国際交流協会 交流スペース
参加者数：ホストファミリー25家庭（留学生：25人/9カ国）

秋季 開催日：10月26日（土）・11月2日（土）
開催場所：北九州国際交流協会 交流スペースほか
参加者数：ホストファミリー22家庭（留学生：29人/9カ国）

*春の交流会

開催日：7月20日（土）
着物の古布で巾着作り
参加留学生数：6人
参加ホストファミリー数：8人

*バスツアー交流会

開催日：11月23日（土・祝）
目的地：下関市長府、門司港レトロ
参加学生数：24人
参加ホストファミリー数：18家族（27人）

(4) 留学生の地元定着に向けた助成

ア 日本語教室助成金

北九州市内に在住する留学生に対して日本語の学習機会を提供するため、市内に住所を置き、定期的かつ継続的に、無償または低廉な料金により在住外国人に対する日本語教室を運営している団体に対し、運営資金として助成金を交付した。

助成金交付：13教室
交付額合計：610,000円（登録学習者数に応じ、年間3万円～5万円）

イ 多文化共生地域づくり助成金

北九州市内に活動の本拠地を置く国際交流または多文化共生を実施することを主たる目的とする団体が、留学生および地域住民が参加する、国際理解の促進や文化交流、防災支援等を目的として企画・運営する事業に対し助成金を交付した。

（年度ごとに1団体あたり1事業、対象経費の80%で限度額は原則20万円）

公募回数：3回 助成金交付：4団体
交付額合計：730,000円

ウ 市内就職者等への奨励金

北九州市留学生支援ネットワークに加入している機関を卒業し、ネットワークに加入している機関に進学する市内に住民登録を有する留学生に奨励金を交付する。(3万円、1回限り)

北九州市留学生支援ネットワークに加入している機関を卒業し、市内企業に就職する市内に住民登録を有する留学生に奨励金を交付する。(5万円、1回限り)

(ア) 市内進学者助成金交付：51人 交付額合計：1,530,000円

(イ) 市内企業就職者助成金交付：44人 交付額合計：2,200,000円

4 その他

(1) 広報活動

① 市政だより

北九州市が月2回発行する市公報「市政だより」に、協会が実施する事業やイベント情報等を掲載し、協会のPRに努めた。

(掲載件数：48件)

② 国際交流協会紹介パンフレットの新規作成・配布

③ 「北九州国際交流協会ニュース」の発行

年1回、賛助会員に送付するとともに、協会内や公共施設に配架し、協会の事業をPRした。

④ メールマガジンによる情報提供

月2回、協会からのお知らせやイベント情報等を登録者へ配信した。

(メールマガジン登録者数：526人)

令和元(2019)年度事業報告の附属明細書

1 事業報告の内容を補足する重要な事項

なし

令和元(2019)年度

決算報告書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

公益財団法人北九州国際交流協会

令和元(2019)年度 貸借対照表

令和2(2020)年3月31日現在

公益財団法人北九州国際交流協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	8,369,988	8,232,053	137,935
未収金	4,106,969	1,496,059	2,610,910
前払費用	43,000	45,000	△ 2,000
流動資産合計	12,519,957	9,773,112	2,746,845
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	300,000,000	300,000,000	0
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特定資産			
留学生等支援資金積立資産	44,835,568	49,947,306	△ 5,111,738
外国人人材活躍支援資金積立資産	5,000,000	0	5,000,000
特定資産合計	49,835,568	49,947,306	△ 111,738
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1	2	△ 1
什器備品	993,254	235,663	757,591
リサイクル預託金	0	8,830	△ 8,830
投資有価証券	19,415,400	24,288,829	△ 4,873,429
長期性預金	548,000	548,000	0
保証金	275,000	0	275,000
その他固定資産合計	21,231,655	25,081,324	△ 3,849,669
固定資産合計	371,067,223	375,028,630	△ 3,961,407
資産合計	383,587,180	384,801,742	△ 1,214,562
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,428,484	2,417,728	3,010,756
前受金	0	182,000	△ 182,000
預り金	341,818	753,241	△ 411,423
流動負債合計	5,770,302	3,352,969	2,417,333
負債合計	5,770,302	3,352,969	2,417,333
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受取寄付金	149,835,568	149,947,306	△ 111,738
指定正味財産合計	149,835,568	149,947,306	△ 111,738
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(49,835,568)	(49,947,306)	(△ 111,738)
2. 一般正味財産	227,981,310	231,501,467	△ 3,520,157
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	377,816,878	381,448,773	△ 3,631,895
負債及び正味財産合計	383,587,180	384,801,742	△ 1,214,562

令和元(2019)年度 正味財産増減計算書

平成31(2019)年4月1日から令和2(2020)年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
公益財団法人北九州国際交流協会			
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,308,244	2,308,244	0
基本財産受取利息	2,308,244	2,308,244	0
特定資産運用益	5,043	12,175	△ 7,132
特定資産受取利息	5,043	12,175	△ 7,132
受取会費	447,000	516,000	△ 69,000
受取賛助会費	447,000	516,000	△ 69,000
事業収益	7,549,840	1,835,611	5,714,229
外国人市民の防災支援受託事業収益	444,840	737,683	△ 292,843
コミュニティ通訳等派遣業務受託事業収益	986,944	779,544	207,400
人材育成受託事業収益	337,425	318,384	19,041
外国人市民の図書館利用推進事業収益	280,631	0	280,631
外国人との共生社会環境整備事業収益	5,500,000	0	5,500,000
受取補助金等	60,797,300	56,197,300	4,600,000
受取北九州市補助金	58,018,000	53,018,000	5,000,000
受取国庫助成金	2,500,000	0	2,500,000
受取助成金	279,300	3,179,300	△ 2,900,000
受取寄付金	5,116,783	2,315,551	2,801,232
受取寄付金	45,045	45,671	△ 626
受取寄付金振替額	5,071,738	2,269,880	2,801,858
雑収益	1,202,809	685,694	517,115
受取利息	240	193	47
その他雑収益	1,202,569	685,501	517,068
経常収益計	77,427,019	63,870,575	13,556,444
(2) 経常費用			
事業費	74,172,953	60,967,439	13,205,514
役員報酬	5,967,330	5,950,800	16,530
給料手当	22,539,286	23,691,729	△ 1,152,443
臨時雇賃金	9,835,792	6,179,433	3,656,359
福利厚生費	6,773,762	6,834,485	△ 60,723
材料費	45,732	36,480	9,252
奨学金	480,000	777,069	△ 297,069
留学生等支援助成金	5,070,000	2,268,800	2,801,200
旅費交通費	1,858,880	1,518,960	339,920
通信運搬費	1,206,399	667,634	538,765
減価償却費	230,401	187,686	42,715
消耗什器備品費	1,558,608	0	1,558,608
消耗品費	2,806,942	756,198	2,050,744
車両費	82,797	254,364	△ 171,567
印刷製本費	3,381,546	481,973	2,899,573
光熱水料費	1,955,426	1,971,675	△ 16,249
リース料	513,411	75,842	437,569
使用料賃借料	3,645,685	3,571,069	74,596
災害保険料	145,379	122,273	23,106
報償費	2,479,750	2,441,240	38,510
租税公課	20,200	19,400	800
支払負担金	250,000	250,000	0
委託費	1,144,526	2,262,070	△ 1,117,544
図書費	1,427,097	162,525	1,264,572
食糧費	195,526	129,300	66,226
雑費	558,498	365,434	193,064
管理費	2,013,550	3,059,649	△ 1,046,099
役員報酬	359,070	363,200	△ 4,130
給料手当	161,761	162,861	△ 1,100
福利厚生費	124,500	106,040	18,460
会議費	7,068	2,996	4,072
旅費交通費	5,140	0	5,140
通信運搬費	14,354	9,962	4,392
消耗品費	6,084	7,866	△ 1,782
光熱水料費	100,309	100,977	△ 668
リース料	27,021	3,991	23,030
使用料賃借料	527,092	518,099	8,993
支払負担金	100,000	100,000	0
委託費	457,800	1,425,600	△ 967,800
交際費	31,261	25,049	6,212
雑費	75,284	233,008	△ 157,724
経常費用計	76,186,503	64,027,088	12,159,415
評価損益等調整前当期経常増減額	1,240,516	△ 156,513	1,397,029
投資有価証券評価損益等	△ 4,800,673	9,461,400	△ 14,262,073
評価損益等計	△ 4,800,673	9,461,400	△ 14,262,073
当期経常増減額	△ 3,560,157	9,304,887	△ 12,865,044
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取寄付金	40,000	40,000	0
受取寄付金振替額	40,000	40,000	0
経常外収益計	40,000	40,000	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	40,000	40,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,520,157	9,344,887	△ 12,865,044
一般正味財産期首残高	231,501,467	222,156,580	9,344,887
一般正味財産期末残高	227,981,310	231,501,467	△ 3,520,157
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	5,000,000	0	5,000,000
受取寄付金	5,000,000	200,000	4,800,000
一般正味財産への振替額	△ 5,111,738	△ 2,309,880	△ 2,801,858
一般正味財産への振替額	△ 5,111,738	△ 2,309,880	△ 2,801,858
当期指定正味財産増減額	△ 111,738	△ 2,309,880	2,198,142
指定正味財産期首残高	149,947,306	152,057,186	△ 2,109,880
指定正味財産期末残高	149,835,568	149,947,306	△ 111,738
III 正味財産期末残高	377,816,878	381,448,773	△ 3,631,895

財 産 目 録

令和2(2020)年3月31日現在

公益財団法人北九州国際交流協会

(単位: 円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	61,653
	預金	普通預金	運転資金として	
		福岡銀行八幡支店		4,084,612
		西日本シティ銀行八幡駅前支店		1,551,981
		西日本シティ銀行八幡支店		323,978
		福岡ひびき信用金庫本店営業部		1,868,798
		北九州銀行八幡支店		4,080
		佐賀銀行八幡支店		6,394
		福岡中央銀行黒崎支店		6,394
		ゆうちょ銀行振替貯金		9,298
		定期預金		
		西日本シティ銀行八幡駅前支店		462,500
		福岡銀行八幡支店		300
	未収金	北九州市他	事業に供する未収分	4,106,969
	前払金	ボランティア活動保険	令和2年度	43,000
流動資産合計				12,519,957
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	神奈川県第31回20年公募公債	定款で定めた基本財産であり、運用益を公益目的事業及び管理運用に充てるための資産である。 公益目的保有財産 33.3% 33,300,000 円 収益事業・管理活動財産 66.7% 66,700,000 円	100,000,000
		第152回利付国債	定款で定めた基本財産であり、公益目的保有財産として	50,000,000
		福岡市平成28年度第6回公募公債	運用益を公益目的事業に充てることとしている。	100,000,000
		第160回利付国債		50,000,000
特定資産	留学生等支援基金	定期預金	寄付によって受け入れた財産で、寄付者の定めた用途	
	積立資産	福岡銀行八幡支店	(留学生に対する支援)を目的に積み立てている資産である。	1,773,593
		西日本シティ銀行八幡支店		283,593
		福岡ひびき信用金庫本店営業部		7,500,000
		佐賀銀行八幡支店		9,500,000
		福岡中央銀行黒崎支店		9,500,000
		北九州銀行八幡支店		9,000,000
		普通預金		
		福岡銀行八幡支店		5,300,000
		西日本シティ銀行八幡支店		1,858,382
		福岡ひびき信用金庫本店営業部		120,000
	外国人人材活躍支援資金積立資産	普通預金	寄付によって受け入れた財産で、寄付者の定めた用途	
		福岡銀行黒崎支店	(外国人に対する支援)を目的に積み立てている資産である。	5,000,000
その他固定資産	車両運搬具	スバル軽自動車 1台	公益目的保有財産である。	1
	什器備品	外国人相談メッセージボード5角形	公益目的保有財産である。	1
		イーシェアリングBOX	公益目的保有財産である。	1
		Portigate60Dバンド版	公益目的保有財産である。	79,200
		ノートパソコン5台	公益目的保有財産である。	447,119
		タブレットパソコン2台	公益目的保有財産である。	232,092
		テレビ55インチ1台	公益目的保有財産である。	234,841
	投資有価証券	神奈川県第31回20年公募公債他	打歩発行により取得した金利未償却残高及び期末時点における時価評価損益である。	19,415,400
	長期性預金	定期預金	貸借対照表日の翌日から起算して1年以上経過した日に満期が到来する定期預金である。	548,000
		福岡ひびき信用金庫本店営業部		
	保証金	北九州市	受託事業に係る保証金	275,000
固定資産合計				371,067,223
資産合計				383,587,180
(流動負債)	未払金	北九州市他	事業に供する経費未払分	5,428,484
	預り金	社会保険料他2件		341,818
流動負債合計				5,770,302
負債合計				5,770,302
正味財産合計				377,816,878

令和元(2019)年度 財務諸表に対する注記

この財務諸表は、公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）及び同実務指針（平成28年3月22日 平成28年12月22日改正 日本公認会計士協会）に準拠して作成している。なお、会計区分は移行認定に係る行政庁からの決定処分にもとづいている。

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券のうち時価のあるものについては、期末日の市場価格等にもとづく時価法（売却原価は移動平均法により算定）により行っている。なお、その他有価証券に係る評価損益は、当年度における損益として処理している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を実施している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	300,000,000	0	0	300,000,000
小計	300,000,000	0	0	300,000,000
特定資産				
※1	49,947,306	5,000,000	5,111,738	49,835,568
小計	49,947,306	5,000,000	5,111,738	49,835,568
合計	349,947,306	5,000,000	5,111,738	349,835,568

※1 留学生等支援資金積立資産

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	300,000,000	(100,000,000)	(200,000,000)	—
小計	300,000,000	(100,000,000)	(200,000,000)	—
特定資産				
※1	49,835,568	(49,835,568)	(0)	(0)
小計	49,835,568	(49,835,568)	(0)	(0)
合計	349,835,568	(149,835,568)	(200,000,000)	(0)

※1 同上

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
車両運搬具	977,885	977,884	1
什器備品	2,455,100	1,461,846	993,254
合計	3,432,985	2,439,730	993,255

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
事業補助金	北九州市	0	58,018,000	58,018,000	0
※1	※1	0	150,000	150,000	0
※2	※2	0	100,000	100,000	0
※3	※3	0	2,500,000	2,500,000	0
※4	※4	0	29,300	29,300	0
合計		0	60,797,300	60,797,300	0

※1 日本語おしゃべり発表会他

公益財団法人西日本国際財団

※2 研修助成

一般財団法人自治体国際化協会

※3 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業助成

文化庁

※4 研修旅費助成

一般財団法人自治体国際化協会

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
事業実施による指定解除額	5,071,738
経常外収益への振替額	
事業実施による指定解除額	40,000
合計	5,111,738

7 その他

(金融商品の状況に関する注記)

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の一定部分を運用益によって賄うため、債券により資産運用する。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券であり、発行体の信用リスク及び市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

①. 資産運用規程にもとづく取引

金融商品の取扱は、当法人の資産運用規程にもとづき行う。

②. 信用リスクの管理

発行体の状況を調査するなどして、信用リスクが極めて低いと見込まれる債券のみを取得することとしている。

③. 市場リスクの管理

市場リスクを有する有価証券取引は、行なわない方針である。

令和元(2019)年度附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載するため、内容の記載を省略する。

2 引当金の明細


該当なし。


監査報告書

令和2年5月14日

公益財団法人北九州国際交流協会
理事長 高城 壽雄 様

公益財団法人北九州国際交流協会

監事 大庭 千枝 

監事 藤野 啓介 

監査報告書

定款第25条の規定により、公益財団法人北九州国際交流協会の令和元年度における業務について監査を実施したので、その方法及び結果を下記のとおり報告します。

記

1 監査年月日

令和2年5月14日（木）

2 監査対象期間

平成31年4月1日から令和2年3月31日

3 監査の方法及び内容

監査では、理事及び関係職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め重要な関係書類などを閲覧し、業務及び財産の状況を調査した。

以上の方法に基づき、当該監査対象期間にかかる事業報告及びその附属明細書について検討した。

更に、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該監査対象期間にかかる計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録等について検討した。

4 監査意見

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していることを認める。
- (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を正しく示していると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。